

【質問】子宮頸がんを予防するヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンは、接種した方がよいのでしょうか。

（45歳、主婦）

子宮頸がんワクチン

【回答】子宮頸がんは子宮の入り口にできるがんです。国内で年間約1万人が罹患し、約2800人が死亡しており、患者数・死亡者数とも近年漸増傾向にあります。特に50歳未満の若い世代で増加しています。一方、外国では子宮頸がんは減少傾向にあります。HPVワクチン接種のおかげです。

性交経験のある女性のほぼ全員が感染している「ありふれたウイルス」といわれています。しかし、感染者の90%以上は2年以内にウイルスが自然排出されます。がんになる人は、HPV以外のさまざまな遺伝子の異常が関与し感染が持続する、一部の感染者に過ぎません。

切除する手術で治療が可能ですが、手術により不妊や早産の危険性が生じます。ワクチン接種による感染防止が最良の方法と考えます。

2013年4月に定期接種となりましたが、接種後の広範な痛みや運動障害など多様な症状が報告され、2カ月で積極的勧奨の一時差し控えが発表され、現在も続いています。本症状に関して、国内外で多くの解析が行われ、その発症頻度は10万人当たり約5人と報告されています。

また、ワクチン接種との因果関係を科学的・疫学的に示した報告はありません。15年9月の第15回厚生労働省副反応検討部会において、症状はあ

接種と検診で予防を

「9価」が7月に認可

検診による前がん病変や初期がんでの発見により、子宮の一部分だけを

また、ワクチン接種との因果関係を科学的・疫学的に示した報告はあり

7月に厚生労働省が製造販売を認可した「9価ワクチン」で、約90%の子宮頸がんが予防可能といわれています。女性やその家族が悲しい思いをしな



学的に示した報告はありませ

7月には、症状が消失または軽快しています。日本産科婦人科学会は、一刻も早く接種勧奨が再開されるよう政府などに働き掛けています。

質問をどうぞ

この欄では県医師会が医療制度全般の質問にお答えします。質問希望の方は知りたい内容を分かりやすくまとめ、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「医療制度Q&A」係までお送りください。不明な点をお聞きする場合がありますので住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記してください。なお、直接本人への回答はいたしません。